

議 事 録		作成日	2018年7月3日
		作成者	定住促進課 主事 玉利希望
会議名	平成30年度第1回三島村ジオパーク推進連絡協議会		
開催日時	平成30年7月3日		
参加者	別紙のとおり (欠席：硫黄島地区長徳田保、大里地区長日高重行、片泊地区長山口正人、大里小中学校長加治寧、鹿児島大学名誉教授小林哲夫、九州大学清川昌一、東京大学前野深、三島観光協会事務局長大町祐二)		
議事	1) 協議会設置要綱について	全会一致にて同意	
	2) ジオパーク活動現状報告	全会一致にて同意	
	3) 平成30年度事業計画(案)について	全会一致にて同意	
	3-1) カレンダーについて	島民向け製作にて同意	
	3-2) ガイドについて	引き続き検討が必要。	
	3-3) ジオサイト(井がわ)	全課一致にて同意。登録。	
	4) その他		
議事内容	1) 協議会設置要綱について		
	【最終協議】	全会一致にて議決	
議事内容	2) ジオパーク活動現状報告		
	三島村議長 佐藤	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿児島市民でも三島村を知らない。まずもっともかかわりの深い鹿児島市民に宣伝するのはどうか。 ・開発センターの展示改修について、ゆったりとできる空間づくりを。 	
	事務局回答 (増野)	<ul style="list-style-type: none"> ・レイアウトの仕方など工夫して、島民により関心を持ってもらえるような展示室作りをする予定としている。 	
	事務局回答 (日高)	<ul style="list-style-type: none"> ・ジオパークに限らず、観光PRを推進している。受入全般の質向上を目的として、専門の方の指導を受け、進めていく。 	
	教育長 室之園	<ul style="list-style-type: none"> ・ジオパーク事業は、三島村にとってチャンスのある事業である。多くの同様の団体がある中、三島村が注目を浴びる数少ない取り組みである。事業内に教育が含まれ、学校の授業にて行われているが、先生方、生徒に対して継続した学習事業であるようにしていきたい。また、子ども達も地域のことを話すことが出来るようにしたい。 ・ジオパークで町おこしのモデルとなるような事業をしていきたい。 ・オーバーユース対策とはどのようなものを想定しているのか。 	
	事務局回答 (玉利)	<ul style="list-style-type: none"> ・オーバーユースとは、各観光地であるような観光客によるごみ問題や、個人事業主である民宿が過剰な観光客による閉鎖などを想定している。また、ジオサイトに落書きなどの対策も含まれる。大きい枠で、資源の浪費を押さえる“保全”というくくりを設けている。一番の対策としては、保全をしっかりと綺麗にしておくことと考えている。 	
	教育長 室之園	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介の際には、例示を置いておく方が良い。 	

	三島小中学校長 濱畑	・ジオパーク活動というのが地質だけに限らない特色、歴史、文化も含むことが分かった。広い範囲を含むことをPRしたほうがよいかと。
	会長（村長）	・元姫島村長よりジオパーク活動内の教育活動について、JGCは非常に重視していると聞いている。教育従事者の意見は非常に参考になる。 ・PRについて、チャレンジをしてきた本村。県や他の自治体と比べ、専門とする課を設けてはいないが、新聞・テレビに強く発信できるよう、メディアコンタクトの強化を課題として考えている。
	【最終協議】 質疑終了、全会一致にて同意	
議事内容	3) 平成30年度事業計画について	
	会長（村長）	・特に協議が必要な項目を行う。 ・カレンダーの対象者（島内外）について。
	棚次	昨年作成をして表面化した問題である。景勝地中心のカレンダーから、島の生活が感じられるカレンダーを作ったことにより、島外からの評価が悪くなった。一方島民からは好評と実感している。 ・対象者を明確にすることにより、矛盾なくカレンダーを作成したい。
	三島村議長 佐藤	・好評と感じている。 ・無料配布だけではなく、書店等にて購入できるようにはならないか
	同) むすひ代表 大岩根	・何のためにカレンダーを作るのか問い直した方が良い。目的によっては無料配布以外の可能性がある。
	事務局回答 （日高）	・補助事業支出分ではないところについて、販売は可能かと。 ・事務局案としては島外向けを検討。毎年テーマを設定している。
	かごしま探検の 会 東川	・ジオパークとしてしっかりと目標を持って活動しているところが非常に良いと思っている。 ・小さいがゆえに、計測可能な数値が多いと思っているため、しっかりとデータを記録し、反映していくことが必要と思う。カレンダーも、島内外両方でどの程度反響が異なるのか、もたらした影響についてもしっかりとデータにすることが重要である。
	同) むすひ代表 大岩根	・島民向けに作ることを希望する。ジオパーク活動の根幹である、話し合いの場を設けるきっかけとなること、島の人に地元の魅力を伝えることが理由である。
	会長（村長）	・近隣離島の十島村は、Iターン者からみた島の魅力をカレンダーにしている。参考になると思う。
		【最終協議】 3-1) ・島民向けカレンダーの制作の方向。
議事内容	教育長室之園	・三島村の素晴らしい自然を守っていくことが、持続可能な開発になることを証明し、結果として定住者増につながるという風に対外的にまとめてほしい。
	会長（村長）	・事務局はしっかりと整理し、対外的な情報のとりまとめに留意すること。

	協力隊坂元	<ul style="list-style-type: none"> ・ジオガイドの検討会を地区にて開催。ガイドに従事できる人はいない。 ・教育とからめて、学校でガイドのグループを作ることはできないか。
	同) むすひ代表 大岩根	<ul style="list-style-type: none"> ・検討会時には従事者がいなかった。ガイドについて知る必要がある。 ・認定に固執せずに、地域の実情に合う形で取り組むことが大切。
	教育長室之園	<ul style="list-style-type: none"> ・児童クラブの形で対応も考えられる。ジオ科という事業項目で、ガイド活動ができないかと検討しうる。
	三島村副村長岩 切	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドとして活動する人の基準を明確にし、育成をしていきたい。 ・ガイド活動をしていく中で、問題と解決が現れてくると考えている。 ・子供ガイドも重要であるが、すべてを任せる環境が持続的か考える必要がある。
	かごしま探検の 会 東川	<ul style="list-style-type: none"> ・島の生活を話すことが出来る島民はすべてガイドになりうる。 ・難しく考え、ハードルを高くする必要はない。 ・特定の話題のみをガイドすることが出来る人から、全体を詳細に話すことが出来る人など、多くの選択肢を設け、いろいろな立場の人が様々に関わることが出来るようにするのが良い。 ・コーディネートやマッチングに注力してほしい。
	みしまですよ 山崎	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客が少ないと、成果を感じることが出来ないため、モチベーションの維持が難しい。 ・子供ガイドの際は、地域の大人たちを案内する機会を設けてほしい。 ・他の島から観光に来てもらう機会も考えてほしい。
	【最終協議】	3-2) ガイドについては引き続き検討が必要。
	事務局(増野)	<ul style="list-style-type: none"> ・井がわについて、ジオサイトではある。詳細の説明を資料のとおりでよいか。
	竹島地区長日高	<ul style="list-style-type: none"> ・その他のジオサイト(竹島墓地)について、竹島石を利用した墓である。その旨整理してほしい。
	【最終協議】	3-3) 全会一致で同意。意見について対応する。
	4) その他	
	事務局(日高)	<ul style="list-style-type: none"> ・次回開催を島にて予定している。
	事務局(増野)	<ul style="list-style-type: none"> ・再認定資料をお渡ししている。
	同) むすひ代表 大岩根	<ul style="list-style-type: none"> ・花火作りについて硫黄島にラボを予定。来年度から ・取材について。NHKBS系列と、ウェブサイトから受けている。
	会長(村長)	<ul style="list-style-type: none"> ジオパーク活動も成果が求められる。先頭に立って確実に履行できるようにしたい。地元関係の協力をよろしく願います。
閉会		